

10月の予定



- | | |
|--------------------------|------------------------|
| 1日(月) 火曜日課 | 23日(火) 学芸会後片付け |
| 2日(火) 苦教研(午前月曜日課) | なわとび検定(奇) |
| 3日(水) 就学時検診(午前日課) | 24日(水) 視力(奇) |
| 4日(木) 学芸会特別時間割開始 | 市P連研究大会 |
| 5年学年レク | 25日(木) なわとび検定(偶) 視力(偶) |
| 8日(月) 体育の日 | |
| 9日(火) 実行委員会(5時間日課) | 26日(金) 3年美術博物館学習 |
| 10日(水) 市P連研究大会事前打合せ18:00 | |
| 17日(水) 学芸会児童公開日 | |
| 20日(土) 学芸会保護者公開日 | 29日(月) 児童委員会 |
| 22日(月) 学芸会振替休業日 | 30日(火) 二計測(1, 6, 4年) |
| 資源回収(全地域) | 31日(水) 二計測(2, 5, 3年) |

算数の学力向上策について

本校では、主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善を進め、確かな学力の定着を目指しています。「算数科の基礎学力を引き上げるための授業の工夫」を行う上で、今年度も指導方法工夫改善のために、2名の先生方を迎え入れて、TT指導や習熟度別少人数指導の授業を行っています。今年は単年度の学年も増えて、全学年で教室で行うTT指導の授業や3年生以上は3～4つの教室に分かれて行う習熟度別少人数指導の授業を行っています。特に、習熟度別少人数指導では、自分のレベルを考えて取り組むことができ、少ない人数で子どもたちも気軽に質問をしやすいたの声もあがっています。単元によって、TT指導や習熟度別少人数指導を使い分けながら、子どもたちにとってどのように学習を進めていったらいいかを考えながら進めていきたいと思っています。

修学旅行 IN 函館

8月30、31日に6年生が函館に修学

旅行に行きました。1日目は自主研修を行い、旧函館区公会堂や旧イギリス領事館、カトリック元町教会等の歴史的建造物の見学を行い、グループで立てた課題について学びました。夜は函館山からの夜景も堪能できました。2日目は五稜郭公園を見学したり金森倉庫群での買い物学習を行い、見聞を広げました。この2日間、学校では学べない貴重な体験を通して、社会性や責任ある行動を取ろうとする心が育まれました。そして、何より小学校生活の良い思い出ができました。



～10月は体力づくり強調月間～

体力テスト結果から



トボール投げでは巧緻性・投力に学校としてこれらの体力面での課を考慮して取り組んでいきます。特ということ、意識を高く持って



現在、1学期に行った体力テスト結果を分析し、体力面での課題などを確認しています。体力テストの分析結果として、本校としては、全学年を通して『50m走』の平均値が全国平均より低かったため、走力・スピードに課題があると思われます。また、3年生以上では『立ち幅跳び』と『ソフトボール投げ』の平均値が低かったため、躍力・瞬発力、ソフトボール投げに課題があると思われます。これから、課題を解決できるような運動メニュー等に、10月は「体力づくり強調月間」取り組みたいと考えています。



平成30年度全国学力・学習状況調査結果の清水小学校の概要について

(1) 国語科

国語A

- ・国語Aにおいては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・国語Aの正答数の分布では、全国平均に比べ、上位層が厚く、中・下位層が薄い傾向が見られます。
- ・「漢字や文章を書く」「言語に関する知識・理解・技能」の設問においては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・「話す・聞く」「文章を読みとる」の設問においては、平均正答率が全国平均を下回っています。
- ・全体的に無解答率が低くなっています。

国語B

- ・国語Bにおいては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・国語Bの正答数の分布では、中・上位層が厚く、下位層が薄い傾向が見られます。
- ・「文章を書く」「文章を読み取る」の設問においては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・「話す・聞く」の設問においては、設問の意図をとらえて選択したり、条件に応じた文章で答えたりする問題の平均正答率が全国平均を下回っています。

(2) 算数科

算数A

- ・算数Aにおいては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・算数Aの正答数の分布では、全国平均に比べ、中・上位層が厚く、下位層が薄い傾向が見られます。
- ・「量と測定」「図形」「数量関係」の設問においては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・「数と計算」の設問においては、割り算を使って解答を求める問題の平均正答率が全国平均を下回っています。
- ・全体的に無解答率が低くなっています。

算数B

- ・算数Bにおいては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・算数Bの正答数の分布では、全国平均に比べ、中～上位層が厚く、中～下位層が薄い傾向が見られます。
- ・ほぼ全ての領域で、平均正答率が全国平均を上回っています。

(3) 理科

- ・理科においては、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・算数Bの正答数の分布では、全国平均に比べ、上位層と中～下位層が厚く、下位層が薄い傾向が見られます。
- ・ほぼ全ての領域で、平均正答率が全国平均を上回っています。
- ・「科学的な思考・表現」の設問で、太陽の1日の位置の変化と光電池に生じる電流の変化の関係をとらえる問題の平均正答率が、低くなっています。

(4) 児童質問紙

学校生活

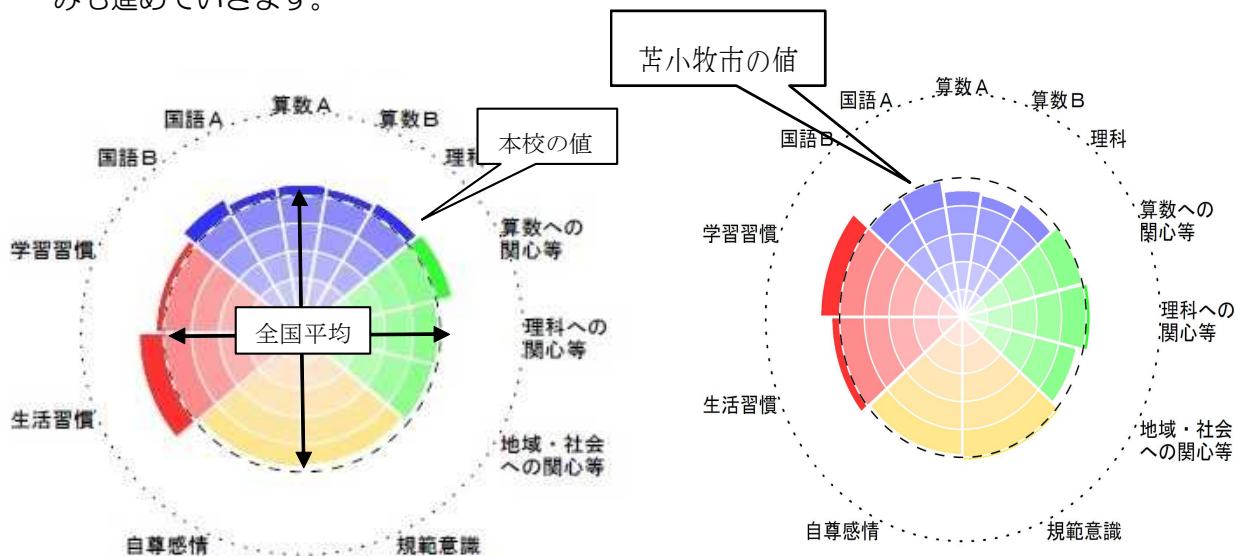
- ・算数の勉強は大切だし、授業内容もよくわかると答えた反面、勉強としては嫌いだと思っている人が4割以上います。
- ・理科の勉強も大切だし、授業内容もよくわかると答えているが、授業中に自分の考えを説明・発表していないと思っている人が7割以上います。
- ・自分の考えを工夫しながら説明することを苦手になっている人が4割以上います。

家庭生活

- ・家庭学習を1時間以上行っている人が6割いて、読書を30分以上行っている人は4割ほどいて、5割近くの子は自分で計画を立てて家庭学習ができていません。また、授業以外で全く読書しないと答えた人が2割ほどいます。

《学校の今後の取組について》

- ◎国語では、普段から内容を読み取り、自分の意見を表現する『言語活動』を重視した授業を行ってきたことで、特にB問題で「文章を書くこと」や「文章を読み取ること」の正答率が高くなっており、成果が見られました。しかし、「語句・文法に関する知識」では、つまづいている児童が多く見られ、課題があると言えます。今後は朝学習や宿題等で反復練習を行い、学力の定着を図っていきます。また、読み取り問題や文章題に取り組みさせるだけでなく、読書を習慣化させたり、内容を制限字数でまとめたりする取り組みを行い、読解力や表現力の向上を図ります。
- ◎算数でも、自分の意見を伝え合う『言語活動』を重視した取り組みを行ってきたことで、特にB問題の正答率が高くなっており、一定の成果を上げています。しかし、「数と計算」「図形」などの分野では、基礎的な学力を問うA問題でのつまづきが多く、課題があると言えます。今後は朝学習や宿題等で反復練習を行うとともに、放課後学習サポート等の時間を使って、個別にも学力の定着を図っていきます。
- ◎理科では、全般的に正答率が高く、基礎的な知識や理解ができていると考えられます。しかし、提示された複数の条件から相互の関係に着目し、既知の知識を応用して解答する問題の正答率が低くなっており、課題であると言えます。引き続き授業の中で意見を考えて書く場面を設定し、表現力の向上を図るとともに、字数や内容等の条件の中でまとめていくなどの取り組みを行っていきます。
- ◎無解答率が非常に低いことは、「自分の意見に自信を持ち、あきらめず最後まで取り組む」姿勢が児童に根付いていることの表れであると考えられます。今後も学習や生活の場面において、児童が自分のよさを認められていると感じられるような、声かけなどを行っていきます。
- ◎算数の授業について、子どもたちが「楽しい」「好きだな」と思えるように工夫した授業づくりをして、理科では授業の中で自分の考えを説明・発表する場面をつくっていきます。
- ◎中学校への進学を考えると、テスト勉強として自分で計画を立てて家庭学習を行うことになるので、今から指導していきます。
- ◎読書について、家庭での読書「家読」（うちどく）を積極的に進めていく必要があり、保護者と連携しながら取り組みます。また、子ども新聞等を活用して、情報を活字としてとらえる取り組みも進めていきます。



～一斉メール配信に係わるお願い～

苦小牧市では数年前から一斉メール配信システムを取り入れ、教育委員会や各学校から保護者の皆様へ大切な情報を届けています。気象状況等による臨時休業等の緊急連絡や学校行事や家庭教育に関する教育情報等をメール配信しています。

学校からのメール配信の際には、開封確認を行っていることがほとんどです。その際には、スクロールしてURLにアクセスして開封状態にしてください。それを受けて、学校としては保護者に情報が伝わったと判断します。開封状態にならない場合は再度メール送信がされます。そこでも開封状態にならない場合は、情報がきちんと伝わったのか判断できないので、最終的には電話をかけて情報が伝わっているのかを確認することになります。

